

第九十回 帝國議會
議院 地方競馬法案委員會議錄(速記)第二回

付託議案
地方競馬法案(小笠原八十美君外四
提出)

昭和二十一年九月二日(月曜日)午後一時三十分開議

委員長

委員長 潤澤 漢吉君
理事 小川原政信君 理事 鈴木 仙八君
理賃金井 芳次君

小笠原 八十美君 佐藤角次郎君

鈴木周次郎君 永井勝次郎君
宮村又八君 松本六太郎君

川野 芳滿君
菊池 豊君

九月二日委員厚東常吉君及び香川兼吉君辭任付其ノ補缺トシテ小川原政信

君及ビ松本六太郎君ヲ議長ニ於テ選定

シタ

原政信君が理事ニ當選シタ

出席國務大臣

出席政府委員

農林政務次官 大石倫治君
農林事務官 離坡理平君

本日ノ會議ニ付シタ議案

地方競馬法案(小笠原八十美君外四
卷之三)

名提出

、本委員會ニ付託セラレマシタル小
是ヨリ會議ヲ開キマ

立原八十美君外四名提出ニ係ル地方競

、審査ノ方針ニ關シマシテハ、一昨

吉委員長、理事ノ互選會ノ後テ懇談會
ノ開キ協議ヲ致シタノデアリマスル

ガ、大體本委員會ノ審査日數ハ二日位トジテ、本日ヨリ質疑ヲ行ヒ、本日中ニ質疑ヲ終了シナイトハ、明後五日ニ豫定デゴザイマス、以上ノ點ヲ御諒承願ツテ置キマス

尙ホ此ノ際御諸リ致スコトガゴザイマス、厚東常吉君ガ委員ヲ辭任セラレ、其ノ補闕トシテ小川原政信君ガ議長ニ依リ委員ニ選定致サレマシタ、就キマシテハ委員ヲ辭任サレマシタル厚東君ハ理事ニアリマスノゾ、其ノ補闕選任ヲ行ハネバナリマセヌガ、是ハ先例ニ依リマシテ委員長指名ト云フコトニ異議ゴザイマセカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○瀧澤委員長 御異議ナキモノト認メマス、ソレデハ小川原政信君ヲ理事ニ指名致シマス、尙ホ香川兼吉君ガ委員ヲ辭任セラレ、松本六太郎君ガ補闕トシテ委員ニ指名サレマシタ、以上御報告ヲ致シマス、ソレデハ是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス——小川原政信君

○小川原委員 此ノ際御尋不致シテ置キタコトガアルノアリマス、御尋ねヲシマシマス中ニ、自分ノ意見モ若干捕ミマシテ、御答ヘノ便宜ヲ圖リタイト考ヘルノデアリマス、私共競馬法ノ一日モ早ク上程サ、レマシテ、喜ンデ競馬ヲ致スト云フ日ヲ待ツテ居リマシタガ、果シテ其ノ日ガ今ニ參ツテ上程サレタノデアリマス、此ノ見地カラ致シマシテ、競馬ヲ行フト云フコトハ、私共ノ觀點カラ致シマスト、產業用馬

ヲ最モ能ク發達セセタイト云フコトガ、私共ノ狙ヒデアルノデアリマス、是マデハ御案内ノ如ク、軍馬ト云フニ依リマシテ、或ハ鍛錬競走デアルトカ、或ハ競馬ガ行ハレテ居ツタノデアリマスルガ、モウ軍馬ノ要ハ申上ばル必要ガナイノデ、是カラハ非常ニ多數ノ產業馬ガ必要ニナツテ參ツタノデアリマス、其ノ產業馬ト申シマスモノハ、ドノ位ノ數方要ルカト云フコトハ非常ニ大キナ數ニナル、今日農林省百五十萬町歩御開発ニナルト云フ御開明ヲナスツテイラツシヤルガ、此ノレニ於キマシテ畜産ガ含マレテ居ラヌト云フコトガ、私非常ニ遺憾ニ堪ヘナリマス、北海道ニハ乳牛馬バカリデ、役牛ガゴザイマセヌノデ、此七十萬町歩開発スルコトニナリマスト

云フ、北海道ノ只今ノ耕地ガ一頭當リ四町一段ニアリマス、之ヲ基準トシテ七十萬町歩開發スルトスルナラバ、十七頭萬ノ馬ガ要ルノアリマス、サウシテ内地ノ方ハ牛ト馬トノ混用デアリマス、ソレデ是ハ一頭平均大體ノ雄測ガ一町六段餘リニナツテ居リマス、之ヲ内地ノ方デハ非常ニ馬ガ欲シト言シテ、北海道デ御求メニナリマガ、其ノ馬ガ北海道カラ御希望ニ副コトガ出来ナイ程少數ニアリマス、ソコデ此ノ七十萬町歩ノ開發スルト云コトニナリマシテ、三分ノ一ダケヲ云ガ耕ストシマシテモ、一町六段ノ割合デ耕シテ参リマスト、十六萬頭要ルノアリマス、現在農林省ノ御鑑表ニシテ居リマス、馬ガ百十二萬頭ト仰シ

馬ガナクナツタカラハ要ラヌト云フ
コドヲ考ヘラレマスナラバ非常ニ困ル
ノデアリマシテ、此ノ産業用馬ヲ作ル
上ニ於キマシテ健全な馬ヲ作ルト云フ
コトハ、ドウシテモ競馬デナケレバナ
ラヌ、一面馬ノ方カラ見タノデアリマ
スガ、是ハ農業カラ離シタ馬ハナイン
デアリマスカラ、農業ノ方カラ見マス
ト、一年ノ肥料ト云モノガ、私ノ計
算ニ依リマスト百五十億ノ計算ニナツ
テ居ルノデアリマス、ト言ヒマスノ
ハ、馬肥カラ水ヲ抽出シテシマツテ硫
酸「アンモニア」ガ十一億餘リノ貫數ガ
權レルノデアリマス、是ハ専門家ガヤ
ツテ居ルノデアリマス、過磷酸石灰ニ於
キマシテ五億四千四百萬、硫酸加里
ニ致シマシテ四億萬貫、合セマシテ二
十億七千百萬貫、約二十一億ノ肥料ガ
權レマス、之ヲ現在農林省ノ御決メニナ
ツテ居ル所ノ候段ニ致シマシテ八五十
億ト云フ厖大ナ金ニナルノデアリマシ
テ、馬ヲ切離シテ農業ハナノイデアリ
マス、又脚ヲ良クスルト云フ方法ニハ
競馬ヨリ外ナイ、斯ワ云フ考ヘカラ致
シマシテ、此ノ産業用馬ノ發達ラ冀ヒタ
イトイシシテ、私共此ノ競馬法ニ贊成致
シテ、速カニ是ガ可決サレタイ、斯ウ
云フ考ヘデアリマスガ、農林省ニ於カ
レマシテハ此ノ馬政ノ上ニ於テ如何ナ
ル御考ヘガゴザイマスルカ、畜産政策
トシテドウ云フ方法ヲ御執リニナリマ
スカ、此ノ點ヲ大臣カラ一ツ御聽カセ
ラ願ヒマス、尙ホ更ニ最後ニ附加ヘテ
申上ゲマスコトハ、競馬ヲ致シマス所
ノ輕種ハ北海道ノ日高が最モ良宜地方

一時此ノ輕種ト云フモノヲ中間種ニ切替ヘラレタイト云フノデ、相當馬政局時代ニモ御骨折ニナリマシタガ、儀テ競馬ヲ致シマス今日ニナリマシテドノ位ナ馬ガ出来ルノデゴザイマセウカ、其ノ邊モ併セテ御尋ネヌト致シタイト思フノデアリマス、極ク簡単デアリマスガ、大筋ヲ一ツ御聽カセラ願ヒタイ、斯様ニ考ヘテ質問致シタ次第ニアリマス

御意見全ク其ノ通リデゴザイマス、日本ニ於テ農業ノ經營ヲ致シマスルニ當シテ、大動物ノ必要ヲコトハ改メテ申ラヌ地域モアリ、牛ニアツテモ間ニ於キマシテモ、地域ニ依リマシテ耕作上、又肥料ノ供給上馬デナケレバナシテモ、ドウシテモ馬ニ依ラネバナラズト云フコトガ定論アリマス、日本ニ於ケル馬ノ建前ハ、曾テ日露戰役ノ直後ニ於テ、明治大帝ノ深キ恩召ニ依リ、茲ニ馬政計畫ノ三十年ト云フモノガ立テラレマシタ、ソレガ支那事變中ニ於テ第一期馬政計畫期限ガ終ルヤリニナリマシタノデ、更ニ第二期計畫ヲ三十年間に亘繼續シテ立テタノデアリマス、シタガ、其ノ第二期ノ計畫ニ實行ニ至手致シマシタル間ニ、段々ト支那事變ヨリ歐洲大戰ニ進ミマシテ、軍馬ノ原求ハ非常ナ變化ヲ致シタノデアリマス、隨テ國內ニ於ケル馬ノ生産ノ目標ト云フモノハ、大體軍ノ要求ニ依ツテ致シマシタ結果、軍ノ最モ軍馬トシテ、要求セラレマシタノハ輕種ノ最モ脚軽イ速力ノ早イモノガ要求セラレ、又ニ輜重馬デアリ、或ハ砲兵輶馬デナラズタノデアリマス、所ガ支那事變ノ實驗ニ依リマシテ、モウ脚ノ早イ速力ヲ貴重所ノ騎兵用ノ馬ト云フモノハ、飛行機ニ代ツテ必要ガナクナツタ、軍ノ最モ必要トルスルノハ駄馬デアリ、輸馬デナラムシタ、中ニモ駄馬ハ曾テ一頭ノ馬モナカシタ歩兵部隊ニマデモ多數ノ馬方配屬スルヤウニナリマシテ、ソレ空ニ要求ニ致ズルガ爲ニ、國內ノ生産方

大體農家ノ戸數及ビ能力、飼料、育成上ノ努力、サウ云モノノヲ考覈致シテシ百五十萬頭ト云フノデアリマスガ、御話ノ通り耕地ハ更ニコ、數年間ニヨリ五十萬頭ヲ以テ致シマシチハ、到底萬頭ノ繫合ドコロカ、僅ニ百十萬或百二十萬頭臺ニ止マツテ居リマシテ、軍馬ノ關係ガナイト云フコトハ、動スレバ馬ノ必要ガ非常ニ減退シタガアリキ誤解ヲ招ク、或ハサウ云フヤウニアルハシムルノデアリマシテ、馬ニ對スハ所ノ獎勵ノ施設モ、二十一年度ニ於モ二十年度ニ比較シテ著シク減ツテ居ルト云フヤウナ關係ガアルノデアリス、併シ競馬ノ施設ニ依ツテサウ云ト馬ガ自發的ニ獎勵セラレ、殖エテ行マスクコトハ、我國ノ食糧ノ增産確保ノ上カラ見マシテモ、洵ニ好マシイト存ズルノデアリマス

政課ナンカアルノカナインカ分ラナ
イ、斯ウ云フコトハ私ハ日本ノ畜産振
興ノ上ニ非常ニ悲シムベキコトダト思
フ、又豫算ノ上カラ眺メテモ餘り香バ
シクナイ、第一馬ノ一番ノ根源ニナル
種牡馬ノ豫算ヲ見マシテモ、一箇年僅
カニ三百萬圓ソコラデアル、過日モ大
臣ニ申上ゲタノデアリマスガ、今日北
海道テハ十六萬圓ノ種馬ガ出来タ、十
萬圓以上ノ種馬ガ四頭モ五頭モ出來テ
居ル、ソレカラ五萬圓、六萬圓ノ馬ハ
四五頭モ出テ居ル、然ルニ種馬ノ豫算
ガドレダケアルカト云フコト、二歳デ
一頭三千二百圓、四歳デ四千何ボ、
斯ウ云フヤウナ譯ヂ迎モ御話ニナラ
ヌ、脚ガ少シ曲ツテ居テモ四ツノ脚サ
ヘ持ツテ居レバ四千圓ハシテ居ル、私
ノ組合デ過日モ賣上ゲタ値段ヲ言ツテ
寄越シマシタガ、平均シテ一頭五千圓
カラ六千圓ニ賣レテ居ル、鳥取縣ニ於
キマシテハ、是ハ私方行ツテ見タ譯ヂ
アリマセヌ、聞イタ話デスガ、生レタ
バカリノ牛ガ一頭五千圓モスルト云フ
コトデス、然ルニ種牡馬ガ一頭三千
圓、四千圓ト云フノデハ、馬ノ品種ヲ
良クスルドコロカ、却テ惡クスルバカ
リデス、ソレデ一頭平均五萬圓ニシテ
戴イテ三千萬圓モアレバ宜イ、三千萬
圓ヲ投注シテ良イ馬ヲ作レバ、大藏省
ハ其ノ良イ馬ニ課税スレバ直グ三千萬
圓位ハ取返セル、サウナレバ良イ馬ガ
ト云フコトハ耕作農業ハ最モ窮迫ノ狀
況ガ起ルノデハナイカト想察シテ居
ル、ト申シマスノハ、日本軍ガ南洋ニ
行キマシテ耕地面積ヲ從來ノ二倍ニ擴

此ノ農産物ハドウナルカ、「アメリカ」
ニ於テハ此ノ農産物ハ極東ニ向ツテ送
ルト云フコトヲ演説サレテ居ル、サウ
ナルト我國ハ農産物ノ總デヲ外國ガ
ラ求メラレルト云フコトガ想像サレル
ノデアリマス、サウナツテ耕作農業
ガ、非常ニ困ツタ時ニ、比ノ畜產農業
ヲ發達サシテ置ケバ、ニ依ツテ農業
ハ十分ヤツテ行ケルト思フノデアリマ
スガ、此ノ點ニ關スル御所信ヲ御尋不
致シタイト者ヘマス。

○大石政府委員 御答へ致シマス、御
説ノ通り馬ノ必要ハ認メテ居ルノデア
リマス、併シソレニ對スル政府ノ豫算
ノ持チ方ガ餘リニモ貧弱ダト云フ御意
見デアリマシタガ、洵ニ申譯ナイス第
デアリマス、前年度マテノ馬ニ對スル
政府ノ補助、助成等ハ相當アツタノデ
ゴザイマスガ、御承知ノ通り現在ニ於
キマシテハソレ等ノ補助、助成ハ國策
額致サネバナライノデアリマシテ、
フルコトニ相成ツテ流レタ次第デアリマ
ス、併シ種馬ノ購買費ノ如キモ無論増
上カラ一應概不止めザルヲ得ナイト云
森林省ト致シテモノレバ、努メテ居ル
ノデアリマスガ、ツイ二十一年度購買
ノ豫算ト致シマシテハ、增額ヲ致スコ
トノ出來ナカツタコトハ洵ニ遺憾ナ次
第デアリマス、併シ將來ハ種馬ノ全國
政府買上ノ種牡馬モ頭數ガ激減致スノ
デアリマスカラ、適當ナル時價ニ依ツ
テ買ヒ得ルヤウナ豫算ヲ要求シタイト
存ジテ居リマス、本年度ノ豫算ニ於キ

云フ譯ニハ參ラズノデアリマ
馬産殊ニ畜産全體ニ對シテ、
ノ上ニモ、又豫算ノ上ニモ努
マシテ、御意見ニ即スルヤウ
齊シタイト存ジテ居ル次第テ
ス、尙ホ畜産局ガ至シテ振ハ
フ御説デアリマスガ、是モ時
カラ馬政局ガ廢サレテ畜産局
其ノ畜産局ニ總テノ畜産ヲ綜
シタ關係ト、此ノ國策ノ變革
テハ語弊ガアリマスガ、總テ
ニ今立ツテ居リマス關係カラ
本問題ヲ解決スルニ至リマセ
ソレハノレ等ニ對スル調査
ゲ、根本的ナ計畫及び目標ヲ
シテ、漸次畜產ノ振興及び馬
ヲ圖リタイト存ズル次第アマ
シタ
○小川原委員 是元私ノ質問
シタ

ナ結果力ヲ致モ終ソ
ス、將其ノ機ナリトアリ
樹立シ、ガ渡済未ダ
リマス、併ハ終リ
期ト申研究ヲ
合致ニシテ、併ハ終リ
此ノ法ナリトアリ
トアルトガマス考ヘラ
御提出御審査同様
トアルトガマス考ヘラ
マスガデアリ

良經振ガハテテハ此講考今ニシテハマヌニニル。此改此講考セラ。身違業會セラ。馬シラ評アカヤキナス。

振興ト
思フト
ハトシマ
スルニスル
居ルノ
案サレ
モウ一
内キマシ
ノノデゴ
正ニ、正
畜産ノ
云フ點
競馬ニ依
ラム云フ
シタ其
ノ處分ニ
ノ爲ニ
ヤウナ
後ハレマ
ニ使ハ
シテハ
ノデ、
ヘ、其ノ
案ガ提
不可分ナ
視シテハ

云フ鹿
ダアリ
シテハ
テハ、
ノガ宜
デアリ
マシタ
ヲ畜産
テルハ、
マジタ
ラサマ
ニアリ
リマシ
付キマ
シタハ
ハレルト
使ハレ
スヤウ
使途ニ
ノ目的
ニ意見
ニ於
、今言
出来マ
デアラ
ザダイ
タモノ
サウ云
御参考
考へラ
御説明
上今後
他ノ點
農業
出サレ

馬ト云
ナ批
地方競
基キマ
セ其ノ
又御質
逃ベラ
確保、
フバ、
レマス
是ガ
レガ間
馬法自
ニ達成
タヤウ
或ハ社
ヤウ
ト致シ
ノ、是
ナ途ヲ
期様ニ
大體
マシ
ハ持ツ
申上ゲ
マシテ
ノ趣旨
留產改
農業
畜產

ス
際提案書
タノム
により、
競馬施設
團體の
モノト
云フコ
只今農
改良ニ
ウナメ
シスガ
改良、
小君ヨリ
シマシタ
此ノハ
ナケレバ
二年半
ント、東
際公百分
美進會ヲ
又海外
ウナ
ハニヒ
ナイカ
ス

ノマノトノマシタニ内ノニコ又フク御牡ハイヨ聯使一け法を第笠

マセラ 例方神奈川県ト大蔵ハ關東
關西方面ニ至リマシテハ、是ハ競馬ヲ
スル馬、ソレヲ購買ヲスルト云フヤウ
ナ方ニモ振向ケル方法モ執ラナケレバ
ナラヌデアリマセウ、サウシテ其ノ申
カラ幾分カハソレノ畜産方面ニモ、
政府ノ方面トモ連絡ヲ取リマシテ全國
一律ニ此ノ使用方針ヲ定メナケレバナ
ルマイ、斯ウ思フノアリマス、ソレ
ハ只今農林大臣カラモ注文ガアリマシ
タ、私モ此ノ點ニ對シマシテ大臣ニ御
尋ネショウト思フ點ガアツタノデアリ
マスガ、如何ニモ是ハ馬ノ獎勵ト云フ
ヨリモ、一般的ニ畜產獎勵ト改メルト
云フコトハ、法的ニハ馬ヲ主體トシテ
ヤル競馬デアルカラ私ハ馬デ宜イト思
フガ、併シ一般的ニ畜產ヲ擴大スルコ
トモ強チ惡イコトデハナイ、又一般的
ニハ非常ニ宣イコトダト思セマスカラ
私モ同意シナイモノデアリマセヌ、
併シ賣得金ハ何カ政府ノ方デはハドウ
シテモ監督ノ下ニ一律ニ間違ヒナイ使
途ニ決メタイ、斯ウ云フコトノ御心配
ガアルノデアリマスルガ、是ハヤハリ
政府デナク、自主的ニ競馬ヲヤルモ
ノ自體ガ皆聯合會デモ作ルトカ、オ互
ヒニ相談シ合ツテ此ノ使途ニ對シテ世
間ノ非難ヲ受ケナイヤウニ、一般畜產
獎勵ニモ使フコトニ自ラガ之ヲ定メ、
又實施モシナケレバナラスト云フヤウ
ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ
中央馬事會トモ連絡ヲ取り、政府トモ
アルシ、又色々ナ權限モ第一條、第二
條ニ依ツテモチヤント明瞭ニナツテ居

○和田國務大臣 御聽キシタイト思ヒマス
ニ餘リ御世話ニナラヌデ、オハヒノ間
ニ於テ實際的ニ社會問題トシテ此ノ問題
題ヲ決メル、地方競馬ト云フモノノ收
得金ハ是レヽ使ハレルカラ、是ナニ
バト云フ社會的ノ同情ノアルヤウニ、
オ互ヒカラ進ンデ方針ヲ決メテ行力ナ
ケレバナラヌモノト私ハ考ヘ居ル、是ナニ
デアリマス、畜産トカ馬事トカ云フヤウニ、
ウナ細カイ仕分ヲシタ使途ニ對シソ
ハ、又法案ガ通過シタ後ニ於テモソ
ゾレオ互ヒノ間デ協議シテ適當ニ之ヲ
振分ケタイト考ヘテ居リマス、之ヲ以
テ終リマス

○鈴木(周)委員 只今農林大臣ノ御
話、又提案者小笠原君ノ御話ヲ聽キ、
シテ、此ノ賣得金ノ使途ニ付テハ、社
會事業其ノ他畜産ノ改良、發達ノ爲
御使ヒニナルト云フヤウニ御聽キ致
マシタ、農林大臣ハ社會事業ト申サ
タガ、畜產ノ改良全體ガ社會事業デア
ラウト思フシ、又之ニ書キマシタ意此
デアリマスガ、此ノ賣得金ノ金額ハ相
當大キクオルド云フヤウニ考ヘルガ、
今日ノ物價カラ致シマシタナラバ、壬
萬ヤ二千萬ノ金ハ大シテ大キクナイ、
即チ現在ノ社會事業ト申シマスレバ、
今度ノ豫算案ノヤウニ何十億ト云フ
キナ金デナケレバナラスト思フノデア
リマス、仍テ特ニ命令ヲスル場合ニ於
テハ、畜產ノ綜合的改良勞達ノ爲ニシ
ク出ス如ク命令サレルコトハ私達ノ想
望ヲシテ居リ、其ノ點ニ對シテ今ノ任
案者小笠原氏ノ説明モ其ノヤウニ聽キ
テ居ルノダガ、ソレデ間違ヒアルカ
ウカラ小笠原君カラモ聽キタイン、又
大臣ニサウ云フ意圖ガアルカドウカ
ルノデアリマスガテ、既ニ角政府ノ大

申上ベマシタヤウニ、賣得金ハはハ那方競馬法ガ畜産ノ振興ト云フコトヲ目的一ニシテ居ルノデアリマスルカラ、ヤハリ畜産ノ振興ノ爲ニ使フト云フノガ先ジ第一ノ本筋デアツテ、畜産ノ振興ト云フコトヲ目的一ニ他ノ社會事業、斯ウ云マヤウニ申上げタノデアリマシテ、私ト小笠原氏トハ即チ同ジコトヲ言タノダト思シテ居リマス、畜産ノ振興ト云フコトガドコマデモ筋ダト斯ウ思フノデアリマス

來競馬ト云フモノハ、何トナク一種ノ賭博ノヤウナ關係ヲ含ンデ居ルノデ、競馬場ノ數ニ依ツテ非常ナ問題ガ起キタコトガアルト云フコトデ、ソレニ遡シテ心配スル政府ノ方ノ意圖モアリ、又今日委員ニナツテ居ル方々ノ御心配モアル、畜産ニ關係アル議員方ノ心配モアリマシタ、又貴族院ノ方モ能ク交渉シテ見マシタ所ガ、此ノ點ニ大キナ難點モアリマシタノデ、色々ナロト考ヘテ見マシテ、是ガ問題ニナツテ、畜産ノ發達ヲ今日重大ナ食糧増産ト結付ケナケレバナラヌコトニ後レヲ取ツテハ、國家ノ爲ニ非常ニ重大ナ問題ダト考ヘマシタノデ、是ハ各派ノ共同提案デアリマスカラ、各派ノ畜産關係ノ方ト協議致シマシテ、茲ニ取纏メテ提案シタノデアリマスガ、所ニ依ツテハ一箇所デ済ム縣モアリマス、又北海道ト雖モ三箇所デ御満足デチヤウデアリマス、所ガ又然ラバト云ツテ、ドウ云フ所ヲ限定ニシテ私所ハ一箇所デ宜イカト云フ問題ガ起ルト、ソレヲ定メル爲ニハ大變問題ガ大キクナリマシテ、是ハ中々納マリガ付カヌト云フ所カラ、ドウモ不満足ナガラモコ、ニ收メテ置タコトガ一番無難デアルト云フコトデ之ニ致シタノデアリマシテ、其ノ點一ツ御説解ヲ願ヒタインデアリマス○永井委員 競馬場ヲ指定スル場合ニ食糧ノ増産トノ競合ガ考ヘラレル譯デアリマシテ、是ハ政府當局ニ御尋ねスルノデアリマスガ、主要食糧地帯ハ成上デ之ヲ指定スル、サウ云フ御計ラヒヲ指定ノ場所ニ於テハ、其處ノ耕作農民トノ圓滿ナル話ビシ遂ゲテ、其ノガ必要デグラウト存ズルノデアリマスガ、ソレ等ニ對スル御考ヘハ如何デア

○大石政府委員　此ノ開催箇所ノ指定ト申シテモ、法律ニ明記サレ居リマスカラ、別ニ主務省カラ其ノ縣々ニ指定ラスル必要ガナクナルコト思フノデアリマス、此ノ明文ニ依リマシテ北海道ハ三箇所、他ノ都府縣ハ各一箇所以内ト致シマス、其ノ開催主體トナルモノハ、現在ニ於キマシテハ、都道府縣ノ馬四組合聯合會、或ハ一縣ヲ區域ト致シマスル雋四組合デアリマス、其ノ他中央馬事會ガ主催スル場合モゴザイマスル外、競馬場ノ指定ハ一箇所ト決マツテ居リマスルカラ、主務省ヨリ御詫ノ如キ其ノ都度ノ指定ヲ要シナイコト思フノデアリマス、隨テ食糧問題トノ關係ハ耕地ヲ潰シテヤルト云フヤウナコトハ餘リナイコトデヤナカ、現在ニ於テ軍馬資源保護法ニ依ツテ行ハレマシタ全國都道府縣各一箇所ヅツノ競馬場、若シタハ北海道ハ三箇所ノ競馬場ハ大部分尙ホ今日残ツテ居ルヤウデアリマス、是等ガ法律實施ノ曉ニ利用セラレルモノト存ジマスノデ、御心配ノ如キコトハ餘リナカラウカト存ジマス

スノ、組組ノ組合セトカ、或ハ馬券ノ問題ト色色ヘナ問題ガアルデアリマセ
ウガ、ソレ等ニ對スル内容ノ問題在リ
云フ事柄ニ付テドウ云フ御考ヘラ持ツ
テ居ラレマスカ
○小笠原委員 御尋ネガアリマシタカ
ヲ御答ヘ致シマスガ、如何ニモ御専モ
ナ御氣付ノ點ズアリマス、提案者トシ
テハ地方競馬ナルモノハ本會議デモ御
説明申上ガタ通り、開催地ノ其ノ縣ニ
於テ飼養管理シタ、或ハ隣接ノ都道府
縣デ二箇年間飼養致シタ其ノ馬ニ限ツ
テ出場スルコトガ出來ル、ソレナ四歳
以上八歳以下ノ馬トフコトニ定メル
豫定デアリマス、隨て從來ノ如ク旅カ
ラ旅ヘト渡ツテ歩イタ騎手ニ依ツテ競
走ガ出來ルモノトハ私ヘ考ヘテ居リマ
セヌ、百姓ノ少シ氣ノ利イタ人ガ騎手
ニナシテ競走スルノダト云フコトガ、
地方競馬ノ主タル目的デアリマス、所
ガ是ニハ今御述ベニナリマシタヤウナ
心配ヲ提案者ノ私モ餘程持ツテ居リマ
ス、ドウ云フコトカト言ヘバ、茲ニ產
業馬ヲ目的トシ、其ノ發達ヲ期スル爲
ニ競馬ヲヤルノデアリマスガ、從來ノ
競馬ノ「ファン」ガ何トナク速度重點
主義デ、ドウシテモソレニ重點ヲ置カ
レルヤウナ氣配ガアル、而モソレハ關
東、關西ノ方ノ競馬ノ盛ソナ所ニ最モ
多イヤウナ關係ガアリマスノデ、ソコ
ニ心配ガ出テ來ルノデアリマスガ、生
産地ヤ其ノ他ノ田舎ノ方デハ其ノ心配
ハ更ニナイモノ思ヒマス、ソレニ付
テハ地方競馬ハ公認競馬ト違ヒマシ
テ、ソコニ區別ヲ付ケナケレバナラヌ
コトハ、產業用馬ヲ目的トスル故ニ、
其ノ競走番組ニ對シテモ輓曳競走ト云
フモノヲ入レマシテ、其ノ他駆歩ニ於
キマシテモ、速歩ニ於キマシテモ、ソ

レゾレ産業馬其ノモノノ番組ノ編成
云フコトニ設サナケレバナラヌノデ
リマシテ、其ノ申ニ一部、四分ノ一
リ三分ノ一ナリヲ速度重點的ナ馬ヲ
レテ、一般觀衆ノ娛樂ト云フ所ニ置
ナケレバナラヌガ、ソレヲ全部娛樂
一主義ノ公認競馬主義ニヤルト云フ
トノ番組ハ避ケナケレバナラヌト考
テ居ルノデアリマシテ、其ノ點モ政府
中央團體竝ニオ互ヒノ開催ノ方々ノ主
義ニ依ツテ、實際ノ目的ノ達成スル
ウニ固イ契約ヲ拂ヘ、ソレニ又馬ノモ
合モ産業用馬ヲ重點トシテ集メ、一部
ニ速度重點主義ノ馬ヲ加ヘルト云フ
トニ編成替ラシテ行カナケレバナラ
ト思フノデアリマス、其ノ他ノ取締
針ト致シマシテハ、商賣的ニ奔ツテ
走馬ヲ操縱致シ、何カ八百長デモヤ
ヤウナ氣配ヲ持ツタ今マデ非難ノア
ヤウナモノハ、嚴重ニオ互ヒノ間ニ
テ取除カナケレバナラヌノデアリマ
テ、ソレハオ互ヒノ間ニ能ク決メテ四
キサヘスレバ、關東、關西ノ方モソニ
ゾレ是ハ改マルト考ヘテ居リマス、
上御答へヲ申上ダマス

ニ依ツテ出来上マテ居リマス、或ハ士
戸ノ職人調査支所ニ於ケル色々ナル聲
援ノ預防及ヒ葬ノ生産其ノ他ニ對シ
シテモ、相當競馬會方負擔シマシテ、
馬事界ニ於ケル日本馬事會ノ貢獻スル
所ハ、決シテ僅少ナラザルコトヲ申ヒ
ゲルコトガ出來ルノデアリマス

○瀧澤委員長 宮村又八君

○宮村委員 一年ニ四回トサレテ居ル
ノハ結構ダト考ヘマスガ、一回ニ六口
以内ト云フコトハ、是ハ私考ヘマスト
賭博トカ何トカ云フモノハ、ヨラ經ル
ニ從ツテ非常ニ強クナツテ來ル、是ハ
六日以内トセズニ——餘り長ケレバサ
ウ云フ悪イコトヲ考ヘサセラレル、之
ヲ一回ガ二日カ三四日位ニ限定シテ貰
タナラバ、社會政策カラ見テモ犯罪ノ
防止ニ有效デハナイカ、斯ウ云フ風ニ
ニ付テ、國民ノ健全娛樂モ餘り程度ガ
過ギルト弊害ヲ伴フノデアルカラ、口
程ヲ詰メタラドウカト云フ御説デアリ
マスガ、一應御尤モデアリマス、提案
者ノ方トシテハ、是ハ回數モ都府縣
ハ一箇所ト云フ場所ニ制限致シマシタ
シ、北海道ハ三箇所ト云フ制限ヲ致シ
タノデアリマシテ、隨テサウ云フ所カ
ラシテ、關西トカ或ハ關東トカ云フ場
ニ、非常ニ競馬ノ盛ンナ所デ、マダ同
數ノ足ヌト云フ風ナ要望ノ澤山アル
所デハ、六日デモダ足ヌト思フナ
デアリマス、所ガ地方的ニ見ルト、三
日位開催スレバ後ハ「ファン」ノ關係
馬ノ關係等ニ依ツテソレヲ繼續スルコ
トノ出來ナイ事情ニ置カレル所モアル
ト思フノデアリマス、ソレ等ヲ皆地方
的ニ見テ自由ニヤール程度ニシテ、六

日以内トシタ方ガ、運営デアラウト云フ
コトデ、茲ニ日程ヲ六日以内ト云フコ
トニ定メタヤウナ譯テ、ソレガ提案ト
ナツタノデアリマス、以上御答ヘ申上
ゲマス

○宮村委員 私競馬場ニ行ツテ見マス
ト、大體ハ農村ノ人ガ其ノ競馬場ニ澤
山來ナクチヤナラヌノガ、得チシテ都
會ノ人ガ多イ、斯ワ云フコトヲ考ヘマ
スト、ドウシテモ都會ノ人ハ其ノ方面
ノ娛樂ノ面ニ向ツテ進ミタイ、斯ワ云
フコトニナリマスガ、農村ノ人ガ出テ
來ルナラバ、農閑期ハママ宜ケレド
モ、農繁期ノ場合ニナツタラ非常ニ生
産ニ影響ガアルト考ヘテ居リマス、ソ
レデ斯ウ云フコトハ成ベク此ノ畜産ノ
御方ニモ御願ヒシテ、長クヤラナイヤ
ウニ、精々三日ニ留メテ戴クコトガ、
政府カラ見マシテモ、又此ノ組合カラ
見マシテモ、政府ノ信頼ヲ増スモノト
斯ウ考ヘマスガ、此ノ點ニ對シテ政府
ノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス

○大石政府委員 宮村サンノ競馬開催
期日ニ對シテノ御心配ハ御尤モデゴザ
イマス、併シ提案者ノ御説明ヲ聽キマ
シテモ、又政府ノ感想ト致シマシテモ、
六日以内トナツテ居ルコトガ、運用上
適當アラウト存ズル次第アリマシ
テ、此ノ提案ニハ其ノ點同意ハ表シ得
ルノデアリマス、ト申スノハ御説ノ通
リ營業的、商賣的ト云フヤウナ意味合
デ開催セラレル地方競馬デハナインデ
アリマスケレドモ、假ニ農村——農村
ト申シマシテモ馬ノ生産地方デアリマ
ス、生産地方ハ主ニ農村デアリマス、
サウ云フ地方ノ農繁期ト雲田村ト開

都合ニ依リマシテ、或ハ東北地方ニ於
適當デナイン所モアルト存ジマス、併シ
六日以内デアリマスルカラ、主催縣ノ
テ四日間デ打堀ラウ、或ハ三日間デ打
切ラウ、斯ウ云フノハ開催者ノ都合ニ
最高トシテ、其ノ範圍内ニ於テ其ノ地
方、其ノ地域、開催者ノ見込ニ依ツテ、
開催期日ノ伸縮ヲ行ハシテ宜シカラウ
ト存ジマス、法律ニハ六日以内ト書キ
マシテモ、運営上却テ便宜デハナイカ
ト、斯ウ考ヘテ居リマス

○官村委員 今マデ競馬場ニ行ツテ見
マスレバ、九州方面デハ殆ド二日ニア
リマス、私ノ所アタリデハ小サイ縣デ
ハアリマスガ、生産地デアリマシテ、
サウ云フ方面ニ出テ行ク人ハ都會ノ人
ガ非常ニ多クテ、農村ノ人ハ割ニ少イ、
ソレデサウ云フ所ニ農村ノ人ガ出テ來
ルノハ必ズ不良化シタ人ガ多イノデア
ス、ソレデ私ハ成ベクコソナコトハ長
クヤラズニ、二月ニ一回デモ宜カラウ
ト思フ、長クヤルコトハ結構ヲカシナ
犯罪ヲ犯スヤウナ結果ニナリハシナイ
カ、斯ウ憂フルノデスガ、如何デセ
ウカ

○大石(倫)政府委員 御話ノヤウナ弊
害絶對ニナシトハ申上ゲマセヌ、實ハ
私自身も地方競馬規則ニ依ツテ施行セ
ラレテ居ル當時ニ於キマシテハ、其ノ
開催者トナリ主催ヲ致シタコトガダザ
イマス、又全國ノ地方競馬ト云フモノ
ノ當時ノ實情ヲ詳細ニ私ハ知ツテ居ル
ノデアリマス、其ノ後鍛錬競走ト云フモノ
ノモニ變りマシタ、地方競馬規則が廢
止セラレテ鍛錬競走トナッタ、地方競

馬規則時代ニ於キマシテハ、多キ少キ所ニ於テ一ヶ所若シハ二ヶアリマス、人口のニ當時ノ地方競馬ビ鍛錬競走時代ニ於ケル地方競馬情ヲ見マスルト、概不農村ト申モ、何處デモ農村ノナイ縣ハアリスガ、馬ノ生産地方アリマス、以北信方面、東北、北海道ト云フ、ナ方面ニ於キマシテハ、地方競馬ダ振ヘナインデアリマス、地方競馬則時代ニ於キマシテハ、全國各府所ノ外ハ、府縣一ヶ所ト限定セラシタガ、生産地方アリマシタ東如キハ殆ド全滅致シマシタ、殆ド競馬、鍛錬競走ト云フモノガナクテシマツタノアリマス、最初青トカ、山形縣トカ、福島縣ニハ一アリマシタケレドモ維持困難デアスカラ、結局開催ヲ中止致シテ、宮ノ如キハ初メカラ鍛錬競走ト云フヲヤラナイデシマツタ、北信地方キマジテモ同様ノ成績デアリマシ是ガ行ハレテ居リマシタノハ一都一道四十三縣ノ中半分位シカナタノデアリマス、デアリマスカラ云フ法律ガアリマシテモ、其ノ地實情ニ依リマシテ、是ガ決シテ全ニ必ズ普及スルモノデナインデアスガ、斯ウ云フヤウナ「インフレ」ニアカモ知レマセヌ、例へば營城如キ競馬場ノ古イノヲ持ツテ居ラ

トニハ参フナインデアリマシテ、結局優勝馬ニナル時ハ走ル馬ガ極ク少クナリ、興味ガ非常ニ少クナリ、優劣ガハツキリシテ参リマシテ、折角ノ優勝競馬ガ成立ナインデアリマス、ソレデアリマスカラ四日間デハ從來ノ地方競馬ハ、大抵駆歩ト速歩ノ二種、若シクハ駆歩ト障碍ノ二種——障碍ハ餘り行ハレテ居リマセヌ——之ニ今度ハ駆曳ヲドウシテモヤラウト云フノデアリマス、駆曳ト速歩ト駆歩ト三通リモノガ出ルノデアリマスカラ、三日間デハ最後ノ半日モ一日モ、優勝競走ニナリマシタラ出場馬ガ非常ニ少クナル、ソレハ興味ガ出ナニコトニナルノデアリマスカラ、ヤハリ成ベク是ハ五日間カ六日間ヤリマスコトガ、大體開催ノ實情トシテハ適當ダト私ハ思フノデアリマス

○宮村委員 提案者ニ御願ヒシテ置キマスガ、賭博ミタイナモノガ行ハレナイヤウニ、三箇所位、一日カ二日ヅツ廻ルコトガ出来ルナラバサウ云フ風ニ御願ヒシマス、是ハ希望デアリマス○小笠原委員 只今御希望能力分りマシタ、是ハ斯ウ云フコトニナリマス、只今大石政務次官カラモ御答ヘニナリマシタヤウニ、提案者ノ方デモ、競馬ヲ實施スルニハ農閑期デナケレバナラスト云フコトハ今ノ御説ノ通りデ同感デアリマス、又サウデナケレバ競馬ハ出来マセヌ、是ハ農家ノ持ツテ居ル馬ヲ集メテ農家ノ者ガ之ニ乗ルノデアツテ、本當ノ商賣人ガヤルト云フコトハ義デヤルノト達ツテ今度ノハ産業農馬トシテノ増進ヲ圖リタイト云フ、ソレ申上ゲタ通リデアリマス、隨テ今マデノ草競馬ト申シマシテモ、速度重點主義デヤルノト達ツテ今度ノハ産業農馬トシテノ増進ヲ圖リタイト云フ、ソレ

ニ重點ヲ置イテヤルノぞ、今マデノ競馬トハソニハ餘程違フノデアリマス、隨テ今マデヤツテ居ル所ヲ見マスト、各々馬ヲ引張ツテ來テ、輒競走ト云モノハ、殆ド百姓バカリ何萬人ト云モノガ集合シテ居ツタ傾向也、東北六縣、北海道、全國ノ生產ノ七割五分ヲ占メテ居ル地方ニ對シテ、今マデ見ラレテ居ツタ所デアツテ、隨テサツ云フ地方デハドウシテモ是ハ農民ガ集合スルモノナリト考ヘルノデアリマス、隨テ農閑期ヲ選ブコトハ勿論デアリマス、是ハ競走ヲヤルコトニナルトナゼ六日間必要デアルカ、場合ニ依ツテバ競馬ヲヤレナイト云フコトハ、大右政務次官ノ仰シヤル通り、又三回デ済ム所モ二回デ済ム所モアル、今度ハ何處郡デヤルト云ヘバコニ馬ガ殺到スルノデ、一方ヲ拒絶スルコトノ出來ナイヤウナ事情ニモ立至ルト思フノデアリマシテ、ソレガ爲ニハ所ニ依ツテハ六日間デモ不都合ラ来ス事情モアル、斯ウ云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、此ノ法律案ニ於テ六日以内トシタ所以ハソレデアリマス、決シテ不必要ニ三日ヲ強イテ六日マデ延バスト云フ趣旨デハ絶対アリマセヌカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス、モウ一ツノ御心配デアル都會人ガ集マルノデハナイカト云フコトデアリマスガ、ソレハ私モ心配シテ居ル一人デ、其ノ點關西トカ關東ト云フヤウナ、從來ノ公認競馬ノ慣習ノアツタ、又競馬「ファン」ノ多イ所ハ、ドウシテモサウ云フ風ニナルノデアリマスカラ、其ノ點ヤハリ餘程產業ト云フコトヲ、併セテ考ヘテ行キタイ

ト思フノデアリマス、御答へ致シマス
○松木六委員 私共待望シテ居リマ
シタ地方競馬法ガ上程セラレマシテ、
大變強ク感シ居ル次第アリマ
ス、先程小笠原君カラ御意見ガアリマ
シタヤウニ、我ガ國ノ畜産ハ非常ニ今
日必要性ヲ増シテ參ツタニ拘ラズ、是
ガ指導獎勵ノ面ニ於テハ甚ダ振ハナイ
モノガアル、就中馬ニ至リマシテハ、
先程小川原君モ御述ベニナツタヤウ
ニ、凡コル角度カラ今日ハ非常ナ道境
ニ立ツテ居ルト申サナガレバナラヌノ
デアリマス、之ヲ時代ニ即應致シマシ
テ、所謂民主的ノ行キ方デ馬事ノ振興
ヲ圖リ、延イテハ畜產全體ノ興隆振興
ヲ圖ルト致シマスレバ、ヤハリ此ノ地
方競馬ノ如キモノラ盛シニ致シマシ
テ、ソレニ依ツテソレ等ノ資源ヲ求メ
ルト云フコトニ致サナケレバナラヌ、
斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、斯様
具體的ナ問題ニナリマスト、色々今御
意見ガアリマシタヤウニ、多少見解ノ
相違等モ起ツテ参ルノデアリマスガ、
是等ハ今後之ヲ實施致シテ參リマス内
ニ、改善ヲ加ヘテ行カナケレバナラヌ
點ハアルト存ジマス、併シナガラコ、
デ御同ヒ致シテ置キタイコトハ、第一
條ニ於キマシテ、都道府縣ヲ區域トス
ル馬匹組合聯合會、又縣ヲ區域トスル
性持ツテ居リマスル地方ニ於テハ、
所謂地方ノ馬匹組合ト云フモノハ、是
ハ丁度府縣ニ四散スルモノデアル、馬
ノ數カラ申シマシテモ、或ハ又地域ノ

廣マガラ申シマシアモ、北海道ノ馬匹
組合ト云ソモノハ、大體府縣ヲ單位ト
スル組合ト同様、若シクハソレ以上ノ
馬ヲ持チ、廣サラ持ツテ居ル譯アリ
マス、ソコデ、北海道ノ馬匹組合ハ、
必ズシモ聯合會デナクテモ、所謂北海
道ノ馬匹組合ト云フモノノ特異性ヲ認
メテ、縣單位ノ馬匹組合ト同ジヤウナ
取扱ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フ希望ハ
相當強イノデアリマス、詰リ北海道ハ
聯合會デナクテモ、馬匹組合ガ地方競
馬ヲ開催シ得ルト云フコトニシテ戴キ
タイ、斯ウ云フ希望ガアル譯アリマ
スガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイ
ソレカラ其ノ次ニハ、先程は永井
君カラモ御話ガアリマシタ點アリマ
スガ、北海道三箇所以内トアリマスガ、
是モ北海道ノ實情カラ申シマスルト、
何トカ他ニ方法ヲ御考へ願ヘナイカ
ソレカラモウ一つ、先程は永井
君團體、即ち中央馬事會ガ此ノ地方競
馬ヲ行ヒマス場合ニハ、第四條ノ規定
イノデアリマス、是等ニ對シテモ一ツ
シテ居リマス所ノ馬ノ飼養區域、或ハ
其ノ期間、斯様ナモノノ制限ヲ受ケナ
シテ居リマス場合ニハ、
ハ、此ノ第四條ニ依リマシテ一定期間、
一定地域内ニ於テ飼養セラレタ馬デナ
シテ居ルガ、中央馬事會ガヤル場合ニハ、
ハ、此ノ期間モト云フコトニナツテ居
ルノデアリマスガ、北海道ノ如キ特殊
性持ツテ居リマスル地方ニ於テハ、
所謂地方ノ馬匹組合ト云フモノハ、是
ハ丁度府縣ニ四散スルモノデアル、馬
ノ數カラ申シマシテモ、或ハ又地域ノ

モ、何ト申シテ諸馬ヲ開催スルト云
フ以上ハ、多々ノ人ガ集マリテ來ナケ
レバ成立タナイ、隨テ又馬験ガ相當ニ
賣レナケレバ意味ヲナサナインデアリ
マシテ、興味本位ト云フ譯デハナクテ
馬ヲ持チ、廣サラ持ツテ居ル譯アリ
マス、ソコデ、北海道ノ馬匹組合ハ、
必ズシモ聯合會デナクテモ、所謂北海
道ノ馬匹組合ト云フモノノ特異性ヲ認
メテ、縣單位ノ馬匹組合ト同ジヤウナ
取扱ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フ希望ハ
相當強イノデアリマス、詰リ北海道ハ
聯合會デナクテモ、馬匹組合ガ地方競
馬ヲ開催シ得ルト云フコトニシテ戴キ
タイ、斯ウ云フ希望ガアル譯アリマ
スガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイ
ソレカラ其ノ次ニハ、先程は永井
君カラモ御話ガアリマシタ點アリマ
スガ、北海道三箇所以内トアリマスガ、
是モ北海道ノ實情カラ申シマスルト、
何トカ他ニ方法ヲ御考へ願ヘナイカ
ソレカラモウ一つ、先程は永井
君團體、即ち中央馬事會ガ此ノ地方競
馬ヲ行ヒマス場合ニハ、第四條ノ規定
イノデアリマス、是等ニ對シテモ一ツ
シテ居リマス所ノ馬ノ飼養區域、或ハ
其ノ期間、斯様ナモノノ制限ヲ受ケナ
シテ居リマス場合ニハ、
ハ、此ノ期間モト云フコトニナツテ居
ルノデアリマスガ、北海道ノ如キ特殊
性持ツテ居リマスル地方ニ於テハ、
所謂地方ノ馬匹組合ト云フモノハ、是
ハ丁度府縣ニ四散スルモノデアル、馬
ノ數カラ申シマシテモ、或ハ又地域ノ

モ、何ト申シテ諸馬ヲ開催スルト云
フ以上ハ、多々ノ人ガ集マリテ來ナケ
レバ成立タナイ、隨テ又馬験ガ相當ニ
賣レナケレバ意味ヲナサナインデアリ
マシテ、興味本位ト云フ譯デハナクテ
馬ヲ持チ、廣サラ持ツテ居ル譯アリ
マス、ソコデ、北海道ノ馬匹組合ハ、
必ズシモ聯合會デナクテモ、所謂北海
道ノ馬匹組合ト云フモノノ特異性ヲ認
メテ、縣單位ノ馬匹組合ト同ジヤウナ
取扱ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フ希望ハ
相當強イノデアリマス、詰リ北海道ハ
聯合會デナクテモ、馬匹組合ガ地方競
馬ヲ開催シ得ルト云フコトニシテ戴キ
タイ、斯ウ云フ希望ガアル譯アリマ
スガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイ
ソレカラ其ノ次ニハ、先程は永井
君カラモ御話ガアリマシタ點アリマ
スガ、北海道三箇所以内トアリマスガ、
是モ北海道ノ實情カラ申シマスルト、
何トカ他ニ方法ヲ御考へ願ヘナイカ
ソレカラモウ一つ、先程は永井
君團體、即ち中央馬事會ガ此ノ地方競
馬ヲ行ヒマス場合ニハ、第四條ノ規定
イノデアリマス、是等ニ對シテモ一ツ
シテ居リマス所ノ馬ノ飼養區域、或ハ
其ノ期間、斯様ナモノノ制限ヲ受ケナ
シテ居リマス場合ニハ、
ハ、此ノ期間モト云フコトニナツテ居
ルノデアリマスガ、北海道ノ如キ特殊
性持ツテ居リマスル地方ニ於テハ、
所謂地方ノ馬匹組合ト云フモノハ、是
ハ丁度府縣ニ四散スルモノデアル、馬
ノ數カラ申シマシテモ、或ハ又地域ノ

モ、何ト申シテ諸馬ヲ開催スルト云
フ以上ハ、多々ノ人ガ集マリテ來ナケ
レバ成立タナイ、隨テ又馬験ガ相當ニ
賣レナケレバ意味ヲナサナインデアリ
マシテ、興味本位ト云フ譯デハナクテ
馬ヲ持チ、廣サラ持ツテ居ル譯アリ
マス、ソコデ、北海道ノ馬匹組合ハ、
必ズシモ聯合會デナクテモ、所謂北海
道ノ馬匹組合ト云フモノノ特異性ヲ認
メテ、縣單位ノ馬匹組合ト同ジヤウナ
取扱ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フ希望ハ
相當強イノデアリマス、詰リ北海道ハ
聯合會デナクテモ、馬匹組合ガ地方競
馬ヲ開催シ得ルト云フコトニシテ戴キ
タイ、斯ウ云フ希望ガアル譯アリマ
スガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイ
ソレカラ其ノ次ニハ、先程は永井
君カラモ御話ガアリマシタ點アリマ
スガ、北海道三箇所以内トアリマスガ、
是モ北海道ノ實情カラ申シマスルト、
何トカ他ニ方法ヲ御考へ願ヘナイカ
ソレカラモウ一つ、先程は永井
君團體、即ち中央馬事會ガ此ノ地方競
馬ヲ行ヒマス場合ニハ、第四條ノ規定
イノデアリマス、是等ニ對シテモ一ツ
シテ居リマス所ノ馬ノ飼養區域、或ハ
其ノ期間、斯様ナモノノ制限ヲ受ケナ
シテ居リマス場合ニハ、
ハ、此ノ期間モト云フコトニナツテ居
ルノデアリマスガ、北海道ノ如キ特殊
性持ツテ居リマスル地方ニ於テハ、
所謂地方ノ馬匹組合ト云フモノハ、是
ハ丁度府縣ニ四散スルモノデアル、馬
ノ數カラ申シマシテモ、或ハ又地域ノ

ウナ處ハ少シモナイノデアリマス、其
ノ點ハ前以テ説明ガ足リナイ點ガアリ
マシタノデ、今改メテ御説明ヲシテ御
諒解ヲ得テ置キマス

○大石政府委員 松本君ノ御質問、大體小等原君ヨリ御答辯ニナツテ居リマスカラソレデ十分ダト思ヒマスケレド

モ、聊カ附加ヘテ皆様ノ御諒解ヲ得タ
イト存ジマス、現在ノ機構、所謂馬事
組合法カラ申シマシテ、北海道ニ於ケ
ル單一馬事組合ヲ聯合會ト同格、若シ
クハ一縣ヲ一區域トシテ居ル組合ト同
様ノ取扱ヲスルコトハ、困難デアルコ
トハ御承知ノ通リデアリマス、唯内容
的ニ北海道ノ單一馬事組合ハ、本土ニ
於ケル一縣一組合ノモノト優ルトモ劣
ズヌト云フコトハ是ハ御尤モデアリマ
ス、例へバ根室、釧路、十勝、北見、
日高、斯ウ云フヤウナ組合ハ一國一組
合、或ハ支廳管内一組合トナツテ居リ
マシテ、地域ニ於キマシテモ、馬四ニ
於キマシテモ、況ヤ生産力ニ於キマシ
テモ驚クベキ實力ヲ持ツテ居ルノデア
リマスカラ、御質問ノヤウナ御考へ方
ハ、決シテ根據ノナイモノデハナイト
存ジマスケレドモ、現在ノ機構カラ之
ヲ法文化スル場合ニ於キマシテハ、ソ
レハ到底可能性ノナイモノト思召顧ハ
ナケレバナラヌ、一府縣ノ組合デ、一
組合デアリマシテモ、馬ハ僅カニ三百頭
ヤ千頭足ラズシカ居ラヌト云フ所モア
リマスルシ、或ハ三萬頭、四萬頭アル
区域モアリマスシ、北海道ノ單一組合
ノ如キハ、生産頭數ハ一萬ヲ超エテ居
ルト云フヤウナ組合モアリマス、ケレ
モ併シ是ハドウシテモ法文ノ建前
上、サウ云フヤリ方ハイケナイコトハ
ル御承知ノ通リデアリマスカラ、御質
問フヨリ外ナイト思フノデアリマス

ス、又第三ノ中央馬事會ノコトハ別ニ
蛇足ヲ添ヘル必要モアリマセヌ、小笠
原君ノ御説明ニ依ツテ十分ダト存ジマ
スガ、是ハ決シテ不合理ナヤリ方トハ
考ヘラレマセヌノデ、ヤハリ實情ヲ勘
考致シマシテ、運營上斯ウ云フ風ニシ
テ置クコトガ適當デアラウト存ズルノ
デアリマス、第二ノ區域ノ制限或ハ使
用期間ノ制限ハ、ヤハリ致シテ置ク方
ガ取締上、番組ノ編成上、公平ナル競
走ヲ行ハシムル上ニ於テ必要ナル制限
法ト思フノデアリマス、例へバ公認競
馬ガ是ヨリ復活致シマシテ、十一箇所
行ハレルト云フコトニナリマスト、競
馬クズレノ馬ガ澤山地方ニ入ツテ參
モ地方ニ賣ル場合ガアリマス、サウ云
ハレルヤウナ結果ニモナル場合ガ多イ
ノデアリマス、サウ云フヤウナコトヲ
防止スルト云フ手段方法ニモナルノデ
アリマス、又渡り馬ヲ防イデ、成ベク
地方的ナ、堅實ナル產業用馬ノ競馬デ
アルト云フ本質ヲ保持サセル上カラ申
シマシテモ必要デアリマス、詰リ全國
何處デモ引張ツテ歩イテ出場ガ出來ルト
云フヤウナ無制限ニシテ置キマスト、商
賣化シテ行キマシテ、騎手ノ上カラ、便
用者ノ使用上ノ關係カラ、色々ナ障碍
カアルト思ヒマスカラ、ヤハリ或ル騒
度ノ期限ト區域ヲ定メテ置クコトハ、
地方競馬ノ特色ヲ保持シ、之ヲ繼續セ
シムルニ必要ナコトデハナイカト考ヘ
ル次第アリマス

方團體ガ行ヒマス場合ト、中央馬事會ガ施行致シマス場合ニ、條件ガ等シタ
ナイト云フノハ面白クナイト申上ゲタノハ、私モ政務次官仰シヤルヤウナ心持
テ、是ハ當然其ノ制限ヲ付ケナケレバ、地方競馬ノ特色ト云フモノハナクナ
ル、然ルニ中央馬事會ガ、ヤル場合ニカト云フ點ヲ心配致シタノアリマ
ス、然シ先程小笠原サンノ御説明ニ依
ツテ、ソレハ非常ニ稀ナ特定ノ場合ニ
シカヤラヌノデアツテ、常ニサウ云フ
コトハ行ハナイノダト云フ御話デアリマ
スカラ、ソレナラバ大シタ弊害モナ
シ、左様ナ特定ノ場合特定ノ目的ヲ
以テヤラレルト云フコトアレバ、サ
シテ心配ハナカラウ、サウ考ヘマスカ
ラ其ノ點デ能ク諒解致シマシタ
○大石政府委員 御話ノ通リデアリマ
ス、中央馬事會ノヤリマスト云フノ
ハ、御話ノ如ク特定ノ目的、特定ノ場
合ニ限ラレテ居リマシテ、當ニ中央馬
事會ガ主催者トナツテ、春ニモ秋ニ
モ、年三四回モ五回モヤルト云フヤウ
ナロトデアリマセヌデ、詰リ全國的ナ
資產或ハ馬ノ博覽會ヲヤル、其ノ資源
ヲ斯ウ云フ競馬ト作ラウ、「ブロック
的」ノ競馬ヲヤツテ、或ルツノ目的ヲ
助成シ、或ハ之ヲ達成シヨウト云フヤ
ウナ時ニ限ツテ、特殊ノ地域ノ聯合會
若シクハ馬事組合ノ同意、協議、贊成
ヲ得テ行ハレル仕組ミニナツテ居ルト
存ジマスカラ、サウ云フ場合ニ於テハ
普通行ハレル聯合會、馬匹組合等ノ開
催トハ、聊カ趣キヲ異ニシテ居ラヌケ
レバ、出場馬ヲ廣イ區域カラ集メル
云フヤウナ場合ニ、飼養期間トカ、或

○満澤委員長 川野芳満君
〇川野委員 時間も大變遅レマシテ、
又多數ノ委員ノ方ヨリ御説明ガゴザイ
マシタノデ、私唯一點御尋不申上ゲ
見タイト思フノデアリマス、農業ノ發
達並ニ産業振興ノ爲ニ家畜ノ必要デア
ルコトハ、各委員ノ方ヨリ縷々申述ベ
ラレ、且文先程和田農林大臣ノ御答辯
ニモアツタヤウデゴザイマスガ、此ノ
家畜ヲ増産致スニ付キマシテ、今日最
モ困難ナ實情ニアルモノハ飼料ノ不足
ト云フ問題デアリマス、我が國內ノ飼料
ニモアツタヤウデゴザイマスガ、此ノ
家畜ヲ増産致スニ付キマシテ、今日最
モ困難ナ實情ニアルモノハ飼料ノ不足
ト云フ問題デアリマス、我が國內ノ飼料
料ハ、大體從來ハ國內產ト輸入飼料ヲ
以テ充サレテ居ツタノデアリマスガ、
昭和十六年ノ如キハ百萬トンノ飼料
ガ出來マシテ、先づ完全デアツタカト
考ヘルノデアリマス、其ノ後大東亞戰
爭勃發致シマスルヤ、段々飼料ガ減ヅ
テ參リマシテ、昭和十七年ニハ八十萬
トン、十八年ニハ六十萬トン、十九
年ニハ四十萬トン、二十年ニハ十
數萬トン、二十一年ニハ驚クナカニ
成ツテ居ル、是デハ如何ニ口デ家畜養
育ヲ唱ヘラレマシテモ、肝腎ナ飼料ノ
配給ガナケレバ、到底家畜ノ增産ト云
ノデ、定メシ本年度ノ飼料計畫ト云
リマス、本年ハ御承知ノヤウニ豐作ガ
唱ヘラレテ居リ、一般食糧配給モ從來
ニ比シテ緩和サレルデアラウト考ヘル
テ居ルカト私ハ考ヘマスガ、若シ今日
ニ於テ來年年度ノ飼料計畫ト云フモノガ

樹立サレテ居ルナラバ、御示シヲ願ヒ
タイト思フノデアリマス、尙ホ如何ニ
我ガ國ガ豐作トハ申シナガラ、輸入飼
料ヲ仰ガナケレバ、到底満足ナル配給
ヲナスコトハ不可能デアルト考ヘマス
ノデ、輸入飼料ニ關シマシテ聯合軍ニ
要請サレル御考ヘハナイカ、此ノ點ヲ
御尋ネ致シマス

○難波政府委員 飼料ノ方ハ御話ノ通
リ輸入飼料ニ重點ヲ置キマシテ、極力
聯合軍司令部ノ方ニ輸入ヲ懇請致シテ
居ル所デゴザイマス、本年度ハマダ實
際ニ輸入サレタモノハ小量デゴザイマ
シテ、隨ビマシテ配給モ極ク小量ニナ
シテ居リマス、概數ヲ申上ゲマスト、
此ノ十二月マデニ輸入致スコトニ司令
部ノ方ト諒解ヲ遂ゲテ居リマス数量
ハ、約十一萬二千「トン」デゴザイマ
ス、其ノ中現實ニ内地へ輸入セラレ、
又輸入出來ルヤウナ状態ニナツテ居リ
マス數量ハ、約一萬五千「トン」、其ノ
一萬五千「トン」ノ中ノ一部分ガ最近配
給ノ許可ヲ受ケマシタノデ、是ガ割當
配給ヲ致シマシタ、續イテ近ク入リマ
スモノニ付キマシテ配給ヲ致ス豫定ニ
相成ツテ居リマス、尙ホ此ノ十一萬五
千「トン」以外ニ輸入數量ノ増加ヲ致シ
タイト思ヒマシテ、色々聯合軍司令部
ノ方ニモ御願ヒヲ致シテ居ル譯デゴザ
イマスガ、只今ノ所ハ確タルコトヲ申
上ゲ兼ネル状態デアリマス、又明年度
ノ輸入ト致シマシテハ交渉中デゴザイ
マシテ、マダ確實ナ數字ヲ申上ゲル所
ニ至ツテ居リマセヌガ、我々ノ方ト致
シマシテハ三十數萬「トン」ヲ要請致シ
テ居ル次第デゴザイマス

クテ、自給飼料ヲ目的トシタ自耕作ラニ
御認メニナリマシテ、一段歩ナリ五畝
歩ニ限ツテ自ラ作付ヲ致シ、飼料ヲ作
ラセルト云フ政策ヲ御執リニナツテ
居ルヤウデアリマスルガ、此ノ競馬ニ
出走スル所ノ馬、或ハ輓馬ニ對シマ
シテハ、サウ云フヤウナ御計畫ガナイ
ヤウデアリマス、故ニ現在デハ地方ニ
參リマスト、相當ナ高イ値値デ家畜ニ
飼料ヲ買ツテ居ルヤウナ實情デゴザイ
マシテ、口ノ惡イ田舎ノ童ハ、未利用
資源ハ人間ガ食ベテ居ツテ、米麥ノ如
キモノハ馬様ガ食べテ居ルト、斯ク嘲
弄的ナ言葉マデ使ツテ居ル實情デゴザ
イマス、家畜モ生物デアル以上ハ當然
或ル「カロリー」ハ必要デゴザイマスノ
デ、配給ガナケレバ當然闇買ヲ致シシ
テ、サウシテ飼料ヲ充テチ居ルト云フ
コトハ、是ハ免レナイコトデアラウト
存ズルノデゴザイマスノデ、此際競馬
馬或ハ輓馬ニ對シマシテモ、只今申シ
マシタヤウナ自耕作ヲ御認メニナリ
マシテ、サウシテ自給飼料ヲ作ラセル
御意思ハナイカ、其ノ點ヲ御尋ネ申シ
タイノデアリマス

テルト存ジマス、家畜一教ニ對シマシテ、固リテザイマス。馬馬等ニ對シマシテ、非常ニ飼料ガ要タヤウナ飼料ノ狀態デゴザイマシテ、是ガ確保ニ付ハ色々ト苦心ヲ致シテ居ル次第テゴザイマス。併シ何分ニモ先程申上ゲマシ度ノ高イモノカラ乏シキ飼料ヲ配給致シタ伊チ思ツテ居リマス、隨ヒマシニ限只今デモ、飼料ハ全部ノ家畜ニ萬遍ナク配給シテ居ルト云フ次第テゴザイマスガ、競馬ニ出マス馬ト致シマシテ、實ハ飼料ヲ配給致シマスカドウカ、ソコマデモニナツテ居ル譯デゴザイマスガ、次第テゴザイマスノデ、其ノ中ノ特殊ナモノニ限テ配給ヲ致シテ居ル次第テアリマス、艶馬モ其ノ配給ヲ受ケマス。一ソノ私共ノ方デモ十分研究ヲ致シテ居ル譯デゴザイマスガ、ハ先程來モ色々ト御話ガゴザイマシタヤウニ、地方的ニ農家ノ馬モ出ル譯デゴザイマスノデ、一般的ニ之ニ直チニ配給ガ出來マスヤ否ヤ、モウ少し研究ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第テアリマス

、是ハ難事業者モ知レマセヌガ、専
トモ荷馬車馬ノ如キ輓馬ニ對シマシテ、自給
テハ、現在輸入飼料竝ニ割當飼料ガ當然デ
足スルト云フコトガハツキリ致シマス
ナラバ、是ハ自耕作サセマシテ、自給
飼料ヲ得ル途ヲ開カレルコトガ當然デ
アルト私ハ考ヘマスノデ、此ノ點ニ付
キマシテハ特ニ政府ノ猛省ヲ促ガシマ
シテ、サウシテ斯ウ云フ制度ヲ御執リ
下サランコトヲ切望致シマシテ質問ヲ
終リマス

政策トルコト云ア方針ヲ先以テ決スル
ナケレバ子ニヌ、殊ニ肥沃地頭ノ如キを
ハ重大大問題トシテ今日取扱ハレテ居
ルガ、全部ガ金肥ノミニ恢ツテ居ル所
情デ、漁工省ノ部内デアルトカ、農林
省ノ部内デアルトカ大騒ギヨシテ居ル
ガ、ソレヨリ以上ニ何倍モ大切ナ地力保
ム維持ヤ、地力ノ改良等ニ用ヒル所ノ
厩肥、之ヲ土臺トル所ノ畜産ニ重視
ヲ置イテノ研究ハ、更ニ行ハレテ居ル
イト云フコトニ非常ニ今日ハ不思議ガ
アル、ソコデ今アナタノ言ツタ飼料問
題ニ移ルガ、一飼料問題ト云フチ
ノハ外國カラ何萬トン輸入スルト云
フ、ソシナ飼料政策デハ、畜産ノ發達
モ農業經營モ出來ルモノデハナイト利
ハ考ヘル、假ニ考ヘテ御覽ナサイ、一
體畜產ヲ土臺トル厩肥ノ肥料價格ト
云フモノニ、ドレ程重點ヲ置クカト云
フコトカラ研究シテ行カナケレバナラ
ヌノデ、一年ニ二毛作ヲヤル所ガ、一
町ニ、三段歩ニ一頭ヲ必要トル、北
海道、東北ノ末端ノ如キ所ガ、四町歩
乃至三町歩デ一頭ヲ必要トル云フ
コトハ、是ハ原則トナシテ居ルノデア
リマス、ソコデ一箇年之ヲ放牧セズニ
舍飼トシテノ馬ト云フモノハ、三千担
ノ厩肥ト云フモノハ獲得ガ出來ル、ソ
レニ疏安ト云フ部分ガドレダケ含ンデ
居ル、過磷酸ト云フモノガドレダケ含
ヘバ、家畜ヲ置イテ耕作ヲシタ所ノ一
町歩ト云フモノハ、家畜ノナイ所ノ一
町歩ノ耕作トドレダケノ差ガアルト云
フコトノ研究ガ、愛知縣デモ、奈良縣
デモ、東北六縣デモ、ヤハリ寒地冷凍
等ノ防止ニ依ツテ研究サレタ色々ナ
開拓

題ガ、アシント統計上分ソテ居ル、ソレヲナゼ活用シナイカ、之ヲ使ソコトニ依シテ初メテ飼料問題ガ解決セラレルノデ、隨テ一町歩ニ馬フ一頭使用スル、其ノ一町歩ノ中カラ二段歩分ハ天引シテ之ヲ家畜ノ飼料トシテ與ヘテモ、後ノ八段歩デ、家畜ノナイ所ヨリモ一町二段歩分ノ收穫ガアルト云フコトヲ、ナゼ發見セヌカト云フコトニ、私ハ非常ニ遺憾ガアルノデアリマス、サウ云フコトヲ發見スレバ、自給肥料ハ自ラ出來ルノデアル、飼料ト云ヒマシテモ、飼料問題ト云フモノハニツニ分ケナケレバナラヌ、都市輶馬ト云フ唯輸送ノミニ動イテ居ル牛馬、竝ニ農耕畜産關係ト、斯ウ云フモノニ分ケナケレバナラヌ、農耕畜産關係ハ自給天引スルコトニ依シテ解決ガ著ク、後ノ問題ハ都市ノ輸送ノ牛馬ニ對シテ配給スレバ宜イノデ、其ノ點ヲドウシテ、今ノヤウニ一町歩カラ二割ハ必ズ區別ヲ付ケナイデ、唯收穫ハ全部之ヲ食糧トスル、飼料ト云フモノハ何處カラカ、更ニ編出シテ、全部農家ノ方ノ牛馬ニモ配給スルモノナリト云フ判斷ノ下ニ御研究ナサルコトハ間違ヒデアル、實際農家ハ其ノ配給ヲ受ケテ居ランイ、ソレダカラ白米デアツテモ、相當人間ヨリモ良イモノヲ無理シテヤラナケレバナラヌト云フコトニナル、殊ニ戰時ノ如キ、アノ東條政策ノ如キ、皆玄米供出ト云フコトニナツク、米糠更白米マデモ牛馬ニ與ヘタト云フコトハ、皆サンノ御承知ノ通りダ、隨テ斯ウ云フコトデハ非常ニ困ル、此ノ點ハ若シ畜産ヲ取扱フアナタドシタナラバ、特ニ農林大臣ニ喧シク言ツテ、モウ飼料ト云フモノハ農業方面ノ家畜ニ

對シテハ天引スルモノナリ、其ノ方ガ
増産ニナルシダト云フコトヲ特ニ強ク
要望シナイト、是ハ解決ガ付カナイ間
題ダト私ハ考ヘルノデアリマスガ、其
ノ點ガドコマデ御研究ナサレテ居ルカ
ト云フコトヲアナタ方カラ伺ヒタイ、
若シ御研究ナサレテ居ナカツタラ、
是カラモ運クハアリマセヌ、本當ニ
眞剣ニ此ノ問題ヲ結ビ付ケテヤラナケ
レバ、畜産ノ發達モ駄目デアリマス、
飼料關係ノ解決モ永久ニ付キマセヌ、
殊ニ昨年ノヤウニ、ドウシテモ食糧ガ
不足デアリマシテ、是ハ天引ト云ソテ
モ耳ヲ藉ス人ハナイト云ツタヤウナ
ア、云フ恐慌時代ハ別トシテ、今年ノ
ヤウナ大豐年ヲ迎ヘル時分ニハ、之ニ
依ツテ解決ヲ付ケル好イ時期デアリマ
スカラ、之ニ向ツテ大インアル研究ヲ致
シマシテ、此ノ方針ニ進マレタイト思
フノデアリマス

モウツニハ、此ノ畜産關係ニ付テ
今馬產課長モ居ラレマスガ、先刻大
石先輩カラ色々畜産ノ内容ニ付テ御
答辯ガアツタノデアリマスガ、如何
ニモ日本ト云フモノハ、本當ニ軍用
馬ト乗馬ト云フモノハ幾ラモナカツ
タ、アトハ小格輦馬デアル、駄馬デ
アルト云フコトデアルカラ、是ハ不
幸中ノ幸ヒデアリマス、直チニ產業用
馬ニ轉換スルノニ、非當ニ都合好イ
ト云フコトハ同感デアリマスガ、更ニ
一步考ヘナケレバナラヌコトハ、一體
今日ノヤウニ馬ニ地域別トカ、役種別
トカ云フヤウナ、ソンナ拘束的ナコト
ハ全廢シテ、自由ニ置カレナゲレバ
ナラヌト云フコトハドウ云フコトカト
云ヘバ——是ハ今牛ノ關係ハ競馬法ノ
問題デアリマスカラ申上ゲマセヌガ、
馬一ツニ付テ御研究ナサレテモ、是ハ
考ヘナケレバナラヌ、一體地域別デヤ

ナ、一戸々々ノ方針ヲ立テナケレバ、ナラヌノデ、斯ウ云フ風面積ノ狹イ所ニ、集約農業ニ依ツテ増産ヲ圖ラムト云フノニハ、一戸々々モ子供デモ取扱ヒ易イ馬ト云フモノニ重視ヲ置イテ、澤山生産ヲシテナケレバナラヌ、隨テ木曾馬ノ如キ或ノ事情ガ煙ブ、而モ馬ノ取扱モ達ア、女デモ子供デモ取扱ヒ易イ馬ト云フ配合宜シキヲ得テ、朝鮮牛ノ輸入ヲタナクテモ、其ノ馬ア間ニ合フヤウニ生産能率ヲ擧ゲナケレバ、ナラスト思フノデアリマス、又同ジ村ニ於テモ、私ノ家ニハ馬ノ操縦手ニ非常ニ訓練技術兼未備ハル人物ガアル、是方農繁期ノ時分ニハ農馬トシテ使ヒ、其ノ外ノ時ニハ輸送馬トシテ使ツテ、經濟ノ調節ヲ圖ルト云フコトデ、大キナ輸馬ヲシテ所モアルデセウ、各家庭ノ事情ニ依ツテ運夫カラ、自由ノ生産ニ委シテ置イテ、政府ノ方デハ唯種馬ヲ獲得スル、其ノ種馬ニハヤハリ重點ヲ置イテ、立地的ニ競馬ノモノハドレ位ノ必要トスル、健全誤樂ノ發達ニハドレ位ノモノガ必要ダソレカラ輸馬ハドレ位必要ダ、今日ノ輸送状態ヲ考ヘ、自動車ノ關係カラ睨ミ合セテ、從來ハドレダケノ輸送ヲシテ來タ、小運搬ハドレダケ必要ダ、之ニハドレダケト云フ計畫ヲ立テテ、ヤント馬政方針ヲ確立シテ、其ノ種馬ヲ獲得スルコトニ大ニ努メナケレバ、先刻農林大臣ノ言申馬ノヤウナモノハドレダケト云フ計畫ヲ立テテ、チヤント馬政方針ヲ確立シテ、其ノ種馬ヲ獲得スルコトニ大ニ努メナケレバ、先刻農林大臣ノ言申馬ニ空念佛デ、サウ云フコトデハ心細イタヤウニ、唯畜産ハ農業關係ニ大ニ必要ダ、同感ダナント言ツテモ、ソレハ空念佛デ、サウ云フコトデハ心細イ隨テ馬産課長ガ井上君ナラバ、井上君

ガ案ヲ作ツテ、我々民間ノ要望モ入れ
テ共ニ研究スル、何カ案ヲ立テラテ
進ムベキダ、唯從來ノ馬產計畫ヲ踏襲
シテ、之ニ何トカスルト云フヤウナ補
縫的ナコトヲヤル時代ナイト考ヘテ
居ルノデアリマスガ、何カ案ガアレ
バ、其ノ大體ノ骨組ヲ承リタイ、ソレ
ガナケレバ詳シク承ラナタデモ宜ノイ
デアリマスガ、今後ノ方針ニ付テモ承
リタイ、此ノ點ハ餘り細カクナリマス
カラ、大キナ點ハ來ル五日ニ、大臣
方カラ御答辯ヲ得ルコトニシテ私ノ質
問ハ打切りマス、大體私ノ申上ダタヨ
トニ對スル御答辯ダケヲ伺ヒマス
○難波政府委員 今小笠原君カラ御
ネニナリマシタ二點ニ付テハ、全ク私
共モ其ノヤウナ考ヘデアリマス、第一
點ノ飼料ノ問題ニ付テハ、固ヨリ先程
御話申上ダマシタノハ、何分ニモ當面
ノ急需ニ應ズル爲ニハ、ヤハリ輸入ニ
重點ヲ置カナケレバナリマセヌノデ、
主トシテ輸入物ノ説明ヲ申上ダマシタ
ガ、併シ飼料ノ大宗ハ何ト申シマシテモ
モ國內ノ自給飼料ニ依ラナケレバナラ
ヌコトハ、申スマデモ奈イ問題デアリマ
シテ、我々ドンテモ其ノ方面ニ最モ
力ヲ注イデ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、更ニ又從來飼料トシテ使ハレ居
リマセヤウナ資源ナドモ、此ノ際
料ニスル研究ヲ十分致サナケレバナリ
マセヌ、又從來飼料ニシテ居リマシテモ
ダ、例へバ牧草ヲ例ニ取リマシテモ、
其ノモノニ付テ更ニ今後研究ヲ進メ、
ノ自體ノ、飼料價値ヲ増スコトモ致サ
其ノ成分率ヲ高メ、或ハ收穫時期ヲ
當ニ調節スルトカ、種々ナ考案ヲ残ラ
シテ、從來ノ飼料ニ供セラレテ居タモ
ナケレバナラヌト思ヒマス、サウ云ク
ヤウナ點ハ差當リ急イデ手ヲ著ケテ研

宛モシ、實行シ得ルモノハ實行シテ行
カナケレバナラヌノデアリマンテ、斯
ウ云フ方面ニ於クハ、全ク御説ト同ジ
考ヘヲ致シテ居ル次第アリマス、唯
今マデ何分ニモ食糧ガ斯ワ云フ状態デ
ゴザイマスノデ、其ノ方ノ聲ガ非常ニ
高クテ、飼料ト云フモノガ小サクナツ
テ居シタト云フコトハ、是ハ否定出来
ナイ事實デゴザイマスケレドモ、丁度
今後ニ色々農作物ノ狀況ヲ見マス
ト、飼料ト云フ問題ヲ大キク取上げテ
推進スル適當ナ時期ニナツテ居ルヤウ
ニ考ヘマスノデ、其ノ方面ニ十分力ヲ
盡シタイト考ヘテ居リマス

1000